

### 3. 岡山大学文学部の教育理念・目標等

#### 文学部の教育理念・目標

科学技術の急速な発展やグローバル化の進展のなかで、「人間とは何か」という問題が、以前にもまして重要となってきました。私たちの学部は、そのようなもっとも根源的な問いに、文化や社会のさまざまな分野から総合的にアプローチすることを特色としています。人間の長い歴史を通じて築き上げられてきた、文学や哲学をはじめとする豊かな知的遺産に学び、それを現代に生かすという課題に取り組みます。

そうした目標に向かって、古典や外国の文献の読解、コミュニケーション技術の習得・分析およびフィールドワークなどを通じて、専門的知識を修得するとともに、過去の社会や異文化を探求し、柔軟で幅広いものの見方を身につけることを重視します。また、従来の学問の枠組みにとらわれず、さまざまな分野との連携を積極的に模索し、新しい人間像の構築に努めます。そうした取り組みを通じ、国際的・歴史的視野および人間に対する深い洞察力を備えた人材の育成をめざした教育を行います。

#### 文学部の入学者受入方針

文学部の入学者選抜は、上述のような教育の理念・目標を達成できるような基礎的な知識を備え、課題を解決していく意欲と能力をもち、論理的な思考とそれを的確に表現する力量を備えていることを判定の主眼としています。また、入学後の履修にあたって、次のような項目のいずれかに優れた人を求めています。

- ・哲学・倫理・芸術に関心をもち、幅広く本や芸術作品に親しんでいる人
- ・心や行動、社会や文化、それらと自然環境との関係や地域性に関心をもち、自ら情報を収集して、データに基づいた議論に取り組める人
- ・日本と世界の歴史や異文化に関心があり、斬新な発想と論理的な思考で過去と現代のつながりを学ぼうとする意欲のある人
- ・言葉そのものの仕組みや歴史、言葉の多様性と普遍性、地域・社会・文化と言葉の関係などに関心や問題意識があり、それらについて科学的に研究する方法を学びたいと思っている人
- ・言葉と文化に対する感性を養いつつ、人間および世界について問うことで、現代社会と積極的に関わろうとする意欲をもつ人